

報道関係各位


 インテリジェントヘルスケア株式会社


 かんたき®

“時間外勤務今年2月ゼロ達成” 介護現場における時短への取り組み

～取り組みから半年の実績～

大阪、兵庫、岡山に看護小規模多機能型居宅介護事業所『かんたき』を13か所を運営するインテリジェントヘルスケア株式会社 在宅介護事業部門（本社：大阪市北区西天満 職員数302名 5月31日現在）は、2020年9月より時間外勤務ゼロに取り組み、5カ月後の2021年2月にゼロという成果を出しました。

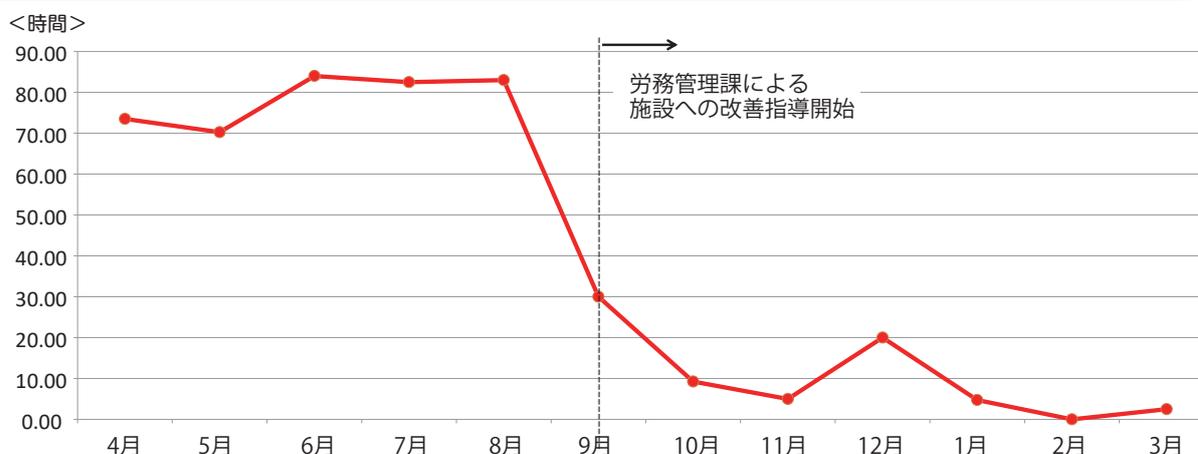
懸念されるサービス残業については、労務管理課の本部職員が不定期に事業所に訪問し、適切な引継ぎが行われているか調査しています。人員不足による一時的に発生する超過勤務があれば、時間外の請求を必ず行うように徹底することとともに、シフトにて事前に判明している超過勤務については1カ月単位の変動労働にて解消を行うように促しています。

当社が取り組んだ時間外勤務ゼロの取り組みによって、子育て支援や看護師、介護職員の定着という効果も導き出し、徐々に好循環を生んでいます。人手不足から残業過多というイメージが強い介護業界ですが、定時で帰れる業界であることを知っていただくことで離職率の低下、人手不足の解消につながると考えています。

当社がどのような取り組みを実施したのかをご紹介します。

＜インテリジェントヘルスケア在宅介護事業部門 13事業所＞
2020年度ひと月の時間外勤務時間（合計）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間外	73.50	70.25	84.00	82.50	83.00	30.00	9.25	5.00	20.00	4.75	0.00	2.50



取材に関するお問い合わせは


 インテリジェントヘルスケア株式会社

広報担当：医療広報部

〒530-0047
大阪市北区西天満4丁目11番23号満電ビル
TEL.06-6312-5000 FAX.06-6312-5099
koho@holonicsystem.com

かんたき職員の時間外勤務ゼロにした主な要因 ～グループの取り組み～



手厚い介護のための“看護師8名、介護職員8名体制”は あわせて職員の時短への大きな要因に

看護小規模多機能型居宅介護の介護保険上の人員基準は、看護師2.5名以上、介護士とあわせて14名（ご利用者登録定員29名、通い18名の場合）となっているところを、インテリジェントヘルスケア株の『かんたき』の人員配置は、**看護師8名、介護士8名の16名体制をとっています。**急性期病院から医療度の高い状態のまま在宅に戻るご利用者に対応する本来の『かんたき』の機能を発揮するためにはこの体制しかない。これはグループで病院運営を行う当社ならではの考え方です。

ご利用者第一主義で整えた手厚い看護師中心の介護の仕組みは、働く職員の過重労働をも防ぎ、結果的に効率的な業務が行えるようになりました。そのため、職員のワークライフバランスがとれ、グループ病院から『かんたき』に派遣された看護師からも「かんたき」の働き方に好評を得ています。



繁忙時間帯



『15：30～17：00の繁忙時間に合わせて柔軟なシフト調整。 過重労働の発生を減らす。』

本部労務管理部職員が現場から残業の要因を聞き出したところ、ご利用者が「かんたき」からお帰りになる15：30～17：00の時間帯に人手不足となる。送迎業務、夕食の準備に係るもの、「ナイトケア」を行うものなど複数のご利用者を少人数のスタッフが同時に見なければならない状態であることが分かりました。そこで、**柔軟にシフトの見直しを行い、繁忙時間帯にシフトを重ねる調整をし、過重労働の発生を減らしました。**



人工知能（AI）による送迎計画作成支援システムを導入。 業務を効率化、約5分でルート設定可能に。



ご利用者には、車いす、歩行器、歩行可能な方など様々な介護状況の方がおり、送迎にはその方それぞれの「制約」が生じてきます。AIシステムソフトを導入することで、**ご利用者の負担の少ない最適な送迎経路が短時間で提示されます。**職員においても**ご利用者の急な利用変更による送迎ルートの設定に労力を使うことなく、運転・介護業務に力を注げるようになりました。**



質、栄養価を落とさず調理工程の簡略化 （本部の管理栄養士による指導のもとマニュアル化）

ご利用者に提供するお食事は、ご利用者の状態により、「普通食」「ムース食」と食事形態が違います。これまで「かんたき」のキッチンではそれぞれの調理工程の違う食事を限られたスタッフで対応してきましたが、**本部の管理栄養士の指導のもと、冷凍食品の導入や盛り付け方法など調理工程を簡略し、味が落ちたり、クオリティが下がることのないよう全事業所その手順を統一、マニュアル化することで調理時間の短縮。お食事時間に遅れることなく提供できるようになりました。**

介護職員（正規職員） 「残業なし」 48.4%

人手不足より、残業過多と思われ仕事を選ぶ上で敬遠されがちな介護業界ですが、令和元年のアンケートによると以下の棒グラフのとおり正規職員全体の1週間の残業時間数は、約半分は「残業なし」となっています。

当社の場合も、「人手が足りないから仕方がない」と慣例的な残業がそのまま見過ごされてきました。

2020年9月より徹底した「働き方改革」を実行するべく、本部職員が「誰がどのようなかたちで残業をしているのか」の検証からはじまり、業務の効率化、電子化、シフトの流動的な変更などを実施、その業務の流れに職員が順応できたことで本年度2021年3月より時間外勤務ゼロを導き出したと考えています。

1週間の残業時間数（正規職員全体）

（訪問介護員 サービス提供責任者 介護職員 介護支援専門員 n=14,258）

